



第5回会議では、【議題チーム】に分かれての《議題チーム会議》と、チーム相互の発表・意見交換の場《発表会》の2つの形式をとって、提言に向けての本格的な議論をスタートいたしました。

《議題チーム会議》は、『チームの基礎づくり』を主な目的として、

- 1) チームメンバーをよく知り合い、意見を聞き合う。
- 2) チームの概要(チーム名, リーダー)を決定する。
- 3) 議題テーマの整理をする。
- 4) 今後の進め方・チーム間の連絡方法などの確認をする。

《発表会》では、2〜3チームによるグループ内で、以上の論議を発表し合い、意見交換することで、状況や概要を共有しました。



## 第5回会議の趣旨



### 【開催概要】

日時: 1月24日(土)

13時~16時半(12時30分開場)

会場: 京都御池創生館京都市職員研修センター

参加者: 委員86名, 傍聴4名

12:30	開場/受付
13:00	開会
13:10	本日の進行説明
13:25	【議題チーム会議】(前半)
14:35	休憩(10分)
14:45	【発表会】進行説明: 担当幹事
14:50	各【議題チーム】発表と質疑応答
15:35	担当幹事まとめ
15:40	休憩(5分)
15:45	【議題チーム会議】(後半)
16:20	お知らせ/まとめ
16:30	閉会フリータイム(30分)
17:00	閉場

No.	チーム名	◎メインテーマ ▼サブテーマ	メンバー	メンバー人数
1	まちづくりは人づくりから	◎こんにちは赤ちゃん (育てあい育ちあいこんにちは赤ちゃん事業)	鷲見典暁, 白井徹子, 村木博隆, 森山祐輔, 尾崎愛子, 梶宏, 長屋博久, 野崎治子, 江森正和, 高桑鉄則	10名
2	京都にこわく	◎子どもおとなもいきいき育つ ▼(課題)情報発信・アピール ▼地域で子育て ▼子どもがいきいき ▼社会(行政・企業)	青木純平, 竹内香織, 爾英晃, 吉田友彦, 小林由紀子, 岡本敏子, 野口寛樹, 佐々木真, 篠原幸子, 廣江吉信, 佐藤友一, 山形悦久, 勝見九重, 石盛真徳, 牧野圭一	15名
3	人をつなぐ福祉のコミュニティづくり	◎人をつなぐ福祉のコミュニティづくり	高瀬博章, 西博三, 山地敏明, 深田雄志, 長澤哲也, 大西佳子, 中前紀子, 原依子	8名
4	岡崎ホールディングス	◎人々の心を豊かにする地区・岡崎 ▼動物園 ▼美術館	丹羽妙, 美濃部竜治, 乾明紀, 土岐利加, 井上翔一, 栗山文孝, 矢田佳子, 山田寛仁, 八十山和代, 土肥真司	10名
5	歩きやすい道	◎歩きにくい道をピックアップする	リチャード・シルバー, 中村善治, 竹内裕貴, 田村剛	4名
6	のりもの	◎京都の交通問題	堀川浩, 田中準一, 二塚敬子, 川本力, 須藤篤志, 富吉満之, 池口誠一, 岡野真之, 吉川忠男, Nadine Edwards, 尾形浩一郎	11名
7	城と堀川	◎世界文化遺産・二条城(京都市所有), 神泉苑とその周 辺の新しい観光を考え, 町興しに繋げる	若村亮, 全永奈, 蜂谷尚, 川口東嶺, 芳村誠二, 野村正樹, 荒木本恵, 小泉光太郎, 松江仁, 駒井義弘, 矢野睦子, 坂本美江子	12名

No.	チーム名	◎メインテーマ ▼サブテーマ	メンバー	メンバー人数
8	市民のおもてなし力を向上させる	◎おもてなし力向上の施策の検討 ▼観光客へのおもてなし→京都市民一人一人が観光客への親切な心配りが大切。京都人はあまり話しをしない。 ▼トイレと観光の問題も大切／他の都市のベンチマークも必要 ▼市民性京都人の人格の検討／意識改革が必要／具体的な「目的」を明確にして継続, 達成	上田雅弘, 平井誠一, 吉見誠一郎, 藤林茂二, 太田航平, 八尾満, 古田泰久, 岡村充泰	8名
9	DVS	◎伝統産業からのベンチャー企業の振興 ▼マーケティングプランの実行 ▼伝統産業からのカーブアウト	山本晶子, 谷昌憲, 立松裕規, 堀田樹, 大木美穂子, 国枝克一郎, 井澤一清, 孝本浩基, 宇野雄哉, 更田誠	10名
10	誰のための景観	◎京都のまちが京都らしく, 美しくあるための人と人を繋ぐ, 人と行政を繋ぐルール ▼景観政策を一般市民に, 何のための景観か? 地域にあったルールづくり	河辺清美, 高木英二, 田中俊介, 松本よし子	4名
11	市民が望む京都の景観	◎京都のまちが京都らしく, 美しくあるための人と人を繋ぐ, 人と行政を繋ぐルール ▼景観政策を一般市民に, 何のための景観か? 地域にあったルールづくり	宗田好史, 石倉宏, 内藤郁子, 大西健吾, 高野忠男, 森本浩行, 中村伸之	7名
12	山紫水明の京都	◎山紫水明の京都を, 京都内外の様々な交流を通して, 守り育てていけるポジティブな仕組みをつくり, 発信する。	上原智子, 中園涼子, 高嶋加代子, 上萩寛, 堀正勝, 朝倉眞一, 井口貢	7名
13	き・わ・み -京都・若者・未来の構想-	◎大学生と京都力 ▼移行(育成)プロセス ▼学生・企業・地域との接点 ▼夢をカタチに	廣岡睦, 船戸潤子, 新妻人平, 秋元宏美, 元井雄大, 小田切康彦, 堀田芳子, 山本眞也, 隅井孝雄, 筒井洋一, 田中翔, 立木哲生, 加藤謙介	13名
14	京都の無駄を斬る六人の侍	◎学区自治会のあり方を再構築or別の組織作りから「市民力」を付けると見直しができる ▼市議会議員の給与約12億+調査費約1億+αを考える ▼100人委員会は無報酬で休日に出て来ているのは, 議員がやるべき仕事をしているのではないか?	木村寿夫, 西嶋直和, 吉川哲雄, 坂田文保, 萩原三義, 今里滋	6名

## アンケート集計結果

### ▼全体感想

▽第5回会議について  
普通

・満足 良かった 良好など

・議論チーム共に良い内容でした  
皆さん熱く語り具体的でもある

・話し合い自体に興味があるそれぞれの思いを出し合って良かったと思います

・新たな考え方が持ててよかったです

・話し合い自体に興味がある

・それぞれが自信の分野を生かし知恵・知識・経験の交換ができたように思えます

・参加することで自分自身の勉強になる。世代もいろいろなのでまちづくりに生かされると思う

▽今後について

・京都のためになる成果が出るように頑張りたいと思います

・若い人の思いやパワーを活用して元気な京都づくりにつながればと考える

・すごくいいメンバーが揃っているのでお役に立っているか

・実行課題を実践する

▼議題チームでの議論

▽チームのまとめり  
・チームのまとめり、その他連携討論のまとめりもよかった

・まとめりの良さは70点ぐらいでしょうか、でも楽しい空気です

▽メンバー

・メンバー一人一人の知識・実行のレベルが高い  
・チームのメンバー同士の関係がすごく良い感じに気づけたと思う

・能力のあるメンバーと議論できて楽しい

・皆さん熱く語り具体的でもある

▽討論時間

・討論時間が足りない。もう少し長い時間を確保してほしい

・発表後の討論時間が少し短かった  
・討論の時間が長いとだれてしまう

▽基礎作り

・基礎作りはオッケー

・基礎作りできたと思います

・リーダーが決まってよかった

▽議論の進化

・人数は少なかったが意見は深まった  
・何をやるのが明確になった

・基礎作りのための問題は明確になった  
・問題点や意義を整理することができた

・テーマのまとめりが出来たと思う

・ようやく具体的に動き出せたように思います

・認識の違いや言葉の定義が確認できてよかった  
・わりとスムーズにいった

・基礎作りとしては問題点の糸口が見え解決の為の中間は何となく見えてきた

・うーん、大分目的が具体的にに見えてきたかな？

▽きつとよい方向に

・基本的なことかもしれないですが、きちんと話を聞くことがみなさんできているので、いい方向に向かっていると思います

・全員かつテーマに基づいた思いがとても熱いのできつと成果が出せる

▽これからが大変

・理念というか相互の意思の確認・理解は深まったが、具体的に「では何を」の選択肢が多くこれからが大変なように思う

・本日がスタート地点だと思う。今日の話し合いを元にみんなが今後何をしたいかなければならないかを考える場であった

▽まだまだこれから

・現状で百出する議題のどこにフォーカスをあてるのどのようなアプローチをとるのが今後の最優先課題

▽少しづつ進んでいる・時間が必要

・はつきりとした議論の基盤を構築するところまではまだ至っていない

・もっとしっかり議論していきたいです  
▽面白くなってきた

・かなりまとめり方向を考えていく段階

・まだまだまとめりまでは来ていないとは思いますが熱いエネルギーがある

・まだまだ議論は様々出てくる感じですよ

・まだまだこれからという段階です

・まとめりというよりも少しずつだが前進している

・各々の問題意識をもとにアイデアが生まれつつあると思います

・議論がまとめにくいテーマで時間が必要

・まだまだ具体的なものを模索中ですが、徐々に煮詰まってくると思います

・内容が充実して来た。動物園を素晴らしいものにして行く為の議論も活発に意見が出ておもしろくなってきた。

▽不安・不明

・全体的にまとめりもうすぐ議題の実現性を感じられない

・何となくまとまった形になったがズレをチェックしていないので今後不明

▽発表会

・3グループの共通点も見え発表自体は有意義でした

（カ）ページから続く

▽欠席メンバー

・今回も追加メンバーは参加せず。仕事の都合上難しい方もいらっしゃると思われるので対応について要検討か

・出席率が低かったのが残念

・チームの半分以上が欠席。今後の参加度が不安

▼今後の意気込み・不安など

▽課題や方策

・堀川の通水イベントに、二条城がいかに存在感を示すかは課題

・市政のムダを切ることから始められそう

・観光資源と教育に協力できる市民団体を作る

▽手応えを得たい

・小さな事でも良い。一定の成果物で手応えを得たい

・小さなことからコツコツと

▽見えてきた

・具体的なアイデアをそれぞれ出していければと思います

・アイデアは皆さんもっておられるので、整理して行けば良いと考える

・具体策としてはまとめる作業を進めてゆけると思う

・根本的な問題は何か見つけるぞ

・何らかの方向性はみつけない

・具体的に不安はありません。なにか実現でき

そう「いや、できる」はずですよ

きつと何かできると信じます

今後は具体化する話に入ると思われる

・方向性がみえてきたと思います

・どんな形でまとまるか楽しみ

▽不安、でも楽しみ

・チームが大きいので、どこに落としどころをおくのか。オプションが多いと思うので集約の仕方、ウェイトの持たせ方への不安は多い。しかし、それぞれキャパシティの広いメンバーなので楽しみでもある。

・まとまるか不安

・チームが漠然としているので、これが実現していくか心配

・どう具体的にするのが見えていない

・考え方が違いすぎてまとまるのか不安／議題にプランがなさすぎ

▽次回に向けて

・委員会の回数だけでは不足する内容について、いかに委員会の開催までの間にお互いの補足が出来るだろうか

・課題の絞り込みはできるのか不安。自分で情報

収集とまとめにおいてチームメンバーと共有して

いこう。次回の会議までメールで議論するな

（カ）ページから続く

・大きな議題のためメンバー数が少ないですが次回

はメールのやりとり等で具体策も出して行きたい

・当日までの準備やまとめつなぎチームの運営が

大切だと思います

▽中間発表に向けて

・中間発表で目標達成へ

・中間発表の際、何かをまとめる必要はあるので

でしょうか？そのような締切に追われるよりも今は

しっかりとメンバーとの問題意識を共有していきたい

・今回は山場にさしかかったところ、3月がその

成果の岐路となる。

・まだ中間発表まで意識しきれていないが、2、3月が勝負かと

・時間がかかってもあきらめずに取り組みたい

・より具体的なものにしていきたい

・これから一回、二回の会議を大切にしたいと思

います

・9月に向け最終ゴールを決めること

・中間発表までどこまで具体的に詰められるの

かが不安。しかしこのチームの話をつめられな

いと100人委員会で行くなら良いことを考えて

も実現はできないとの意気込みはある

▽委員会の目的・成果は？

・全て終わったあとに何が残るのか。議論の参加

者だけが満足して解散ということにならないの

か。この議論が誰に対してどのような影響力を

もつかが明らかでなくそれをはっきりさせる

もしくは影響力を行使するための計画も必要

・14件のテーマそれぞれにユニークで興味深

い。ただテーマに偏りがあることが気になる。

例えば京都経済の活性化については「チームし

かない。他にも災害対策、観光問題、教育 et

c. 部分的には当てはまっているが、そのズバ

リを掲げているチームはない。100人委員会

のあり方があくまで参加者の視点からというこ

となのでそれでよいかもしれない。「番イヤな

のは我々が時間とエネルギーと知恵と絞った提

言を京都市が「ぶーん」と参考程度にしかして

くれないことです。京都市が「こんな事を考え

て欲しい」というところからスタートしていな

いとところがこの会のよいところであり、「方で

ぶーん」で終わってしまう危険を併せ持って

いると思います。14ヶのテーマが決まった今

こそ市「市長？」からこのテーマには「こんな

こともあわせて考えてほしい」とか、「こういう

観点もいれてほしい」とかの意見をいただいた

ほうがいいのではと思います。遊びでやっている

わけではないので市政に活かせていただけたら

提言がしたいです。

（カ）ページから続く

（カ）ページから続く

（カ）ページから続く

（カ）ページから続く

（カ）ページから続く

（カ）ページから続く

（カ）ページから続く

（カ）ページから続く

（カ）ページから続く

（カ）ページから続く

（カ）ページから続く

（カ）ページから続く

（カ）ページから続く

(5 ページから続く)

- ▽他チームとの連携
  - ・アクションプランへの落とし込みまでに他のチームと連携したいのだがその時間がないのが不安。お見合いしたい!
- ▽進捗スピード
  - ・どのくらいのスピードで進んでいけばいいのかわからない
  - ・ぼちぼち
- ▽活動予算
  - ・予算が必要になった場合の申請方法を知りたい。あるいは可能かどうか
- ▼委員会への各種アイデア・自由意見
  - ▽委員MLを
    - ・個々人の質問に応えられるようなMLの構築が欲しい
  - ▽会議外活動
    - ・実際の京都の商店街や町家について客がどんな意見を示されているのかレポートすることを提案し実行してみたい
  - ▽会場の音響
    - ・発表会の時声が小さい場合はきこえないので、いかに声をきこえやすくするか 他グループも同一の空間にいるので
  - ▽長時間化を
    - ・集中日のような位置づけで長時間やるなりして もっと濃い会議をするのはムリでしょうか
  - ▽全体共有を
    - ・他チームとの意見交換 1つだけじゃなく他のチームとも
  - ▽会場の空間
    - ・もう少しいろいろな方法で会議を進められる様な空間にゆとりがあるとありがたい
  - ▽協賛企業を
    - ・我々の活動により動物園に協力してくれる左京企業をリストアップ検討
  - ▽ホワイトボード
    - ・各チームにホワイトボードがほしい
  - ▽カフェブース
    - ・お茶とチョコがなくなった
  - ▽チームの大きさ・部会
    - ・チームの人数が少ないので近いテーマから移動してもらおう人がいたらうれしい
    - ・私たちのチームは少数ですから根底は同じ①②のグループから参加者があればと希求
    - ・チームの規模が大きいと話が広がってしまうのかも知れない
    - ・もっと各ブースでの討論時間がほしい。同じようなテーマ(ペンギン・ねずみ・にわとり)を統合した方がよりよい意見が生まれる、
    - ・他のチームのまとめた情報を今日のように発表してほしい。助言・提言しやすい

- ▽オプシオン企画
  - ・KJ法等の意見をまとめカードに作ってゆく等の効率的な作業法を教えてもらえないか
- ▽広報を!
  - ・もっと外部への広報を。ブログ読まれてますか?
- ▽事務局の対応
  - ・配付資料が行き届いたものでありがたい
  - ・すごく練られた事務局運営と感じた
- ▽事前告知を
  - ・次回の委員会の内容を前もって教えて欲しい。人がまとまってきたので事前準備ができる
  - ・次回の会合で行うことを早めに知らせしてほしい
- ▽委員構成
  - ・公募で集まった人数よりNPOや行政の呼びかけで集まった人の方が多いような気がする
- ▽アンケート
  - ・アンケートの内容問題意識の広さからまとめるのは大変だと思われる

# 第5回会議アンケート集計結果

